

看護と環境	4年・後期	1単位	教授 赤石 三佐代
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121074

1. 授業のねらい・概要

人間の内的・外的環境を健康的なものに整えることが、健康に資する活動の中でいかに重要であるかについて学び、過剰なストレスから人々をまもり、ストレスの少ない安心できる環境・人間らしく温かで落ち着いて過ごすことのできる環境などの諸条件について考える。

2. 到達目標

1. 環境との相互作用における健康について考察できる。
2. 心身相関について理解することができる。
3. 看護の対象である人間、健康および病気について矛盾という原理で明らかにする。

3. 授業の進め方

講義、演習を中心に進める。

4. 授業計画

1. 看護の構成概念と環境
2. 人間・健康・社会・自然現象の中にある矛盾の原理
3. 人間をみる見方，社会を見る見方，自然を見る見方
4. 事例検討（グループワーク）
5. 事例検討（グループワーク発表）
6. 身体と心への働きかけ（環境調整）
7. 事例検討（グループワーク）
8. 事例検討（グループワーク発表）

5. 成績評価の方法・基準

グループワークの発表（30%）、レポート（70%）を総合的に評価する。
再試験は平均点により実施しないことがある。

6. テキスト・参考文献

テキスト：三瓶真貴子（2012）看護学矛盾論 第2版 金芳堂

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストをよく読み込み授業に出席すること。最低1時間以上の予習が必要。

看護と環境・メンタルヘルスサポートに関する文献を読み、グループワークに反映できるように準備しておくこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

グループワークの発表に対してコメントする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目